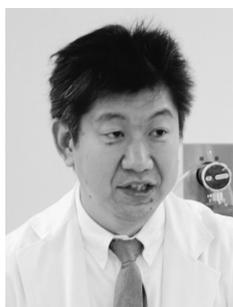


教育奨励賞



万代 康弘

略 歴

2001年 4月 岡山大学医学部第二外科学教室入局
2001年 9月 厚生連府中総合病院 外科
2003年 9月 岡山市立市民病院 外科
2005年 4月 独立行政法人国立病院機構岡山医療センター 外科
2007年 4月 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科入学
2010年 6月 ハワイ大学シミュレーションセンター留学
2011年 4月 香川県立中央病院 外科
2012年 4月 岡山大学 呼吸器・乳腺内分泌外科
2015年 4月 岡山大学医療教育統合開発センター 副センター長
2017年 4月 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 高齢者救急医療学
講座 講師
岡山大学大学院医歯薬学総合研究科附属医療教育センター
多職種連携医療人材教育研究部門長

業績要旨

2015年から岡山大学医療教育統合開発センター副センター長として医学部医学科4年次共用OSCEだけでなく全国に先駆けた5年次OSCE導入とその運営、臨床実習後の評価として導入が進められているPost-CC OSCEの運営責任者として、全国トライアルに参加し2020年に全国義務化に向けた準備を行ってきた。またPost-CC OSCE認定評価者養成・管理小委員会において全国の大学、基幹病院にたいして評価者育成指導をおこなっている。

卒前教育では、臨床実習前授業の「医療シミュレーション教育コース」、「臨床実技入門」実習を企画・運営を行った。近年導入された行動科学やプロフェッショナルリズム教育の企画・作成チームに参加した。

FD研修会について、2017年から開催している医学部医学科新任教員向けFD開催を開始、2018年も継続開催した。また夏のFDの運営責任者として2017年には「ファシリテーション」、2018年には「講義を面白くしよう！」といったテーマで研修会を開催した。

また、シミュレーション教育の普及として融合型教育研究棟4階とMUSCAT CUBE 1階の運営を担当し、昨年1月から12月まで1万3,457名のマネジメントを行った。医学科だけでなく歯学部、薬学部、保健学科の利用や授業に携わり、また岡山県歯科医師会と連携したシミュレーション教育プログラムを作成・実施や、地域教育機関や医療機関と連携した企画として新見公立大学との連携プログラム、井原・笠岡地区の看護研修を出張トレーニング研修として実施した。

大学卒前教育だけでなく卒後の研修やFD研修の企画・実施。そのモデルを地域社会に向けて岡山大学と地域が連携した教育・学習システムを構築することを目指して活動を行っている。